

米長期金利上昇時はEPSの動向が株価のカギに



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① 米長期金利が一時16年ぶり5%超え

23日に米長期金利が一時16年ぶりとなる5%超えとなるなど、金利上昇が株価の逆風になるのではないかと懸念が強まっています。米景気の底堅さや粘り強さをみせるインフレ動向に加え、米国の財政不安も意識されるなかでの米長期金利の上昇圧力は、しばらく続く可能性もあります。

もっとも、過去を振り返ると米長期金利の上昇が必ずしも米国株の重荷となってきたわけではありません。米長期金利が上昇していたとしても、それが米経済の堅調さを表していることも多く、S&P500種株価指数の12ヵ月先予想EPSの拡大基調が続いている局面では、米国株の上昇は継続する傾向があります（右上図）。足元の動きをみると米長期金利は確かに上昇しているものの、米国株のEPSも拡大基調に転じており、この傾向が今後も続くのかが米国株の行方を探る上でポイントとなります。

ポイント② EPSの拡大基調が続くかが焦点に

足元で米主要企業の23年第3四半期決算が本格化していますが、これまでのところ市場予想を上回る決算を発表した企業の比率は74.4%と14年以降の平均値となっており、まずまずの決算内容といえます（10月20日時点）。

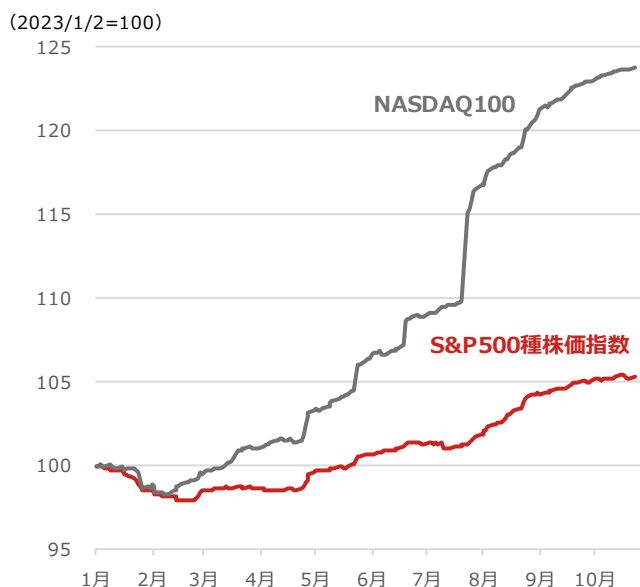
米主要株価指数の12ヵ月先予想EPSをみると、ハイテク株主体のNASDAQ100は拡大基調が続いている半面、S&P500種株価指数は足元で伸びが鈍化しつつあります（右下図）。市場ではハイテク業種の業績の伸びが全体をけん引するとみられており、相対的にハイテク株優位の展開が見込まれます。米国株の先行きを占う上では、今週から相次ぎ発表される主要ハイテク企業の決算が主導する形でEPSの伸びが続くかが焦点となりそうです。

米10年国債利回り・S&P500種株価指数・同12ヵ月先予想EPS（1株当たり利益）



期間：2006年1月6日～2023年10月23日、週次
●印は2024年末、2025年末のBloomberg予想（2023年10月23日時点）
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

S&P500種株価指数とNASDAQ100の12ヵ月先予想EPS



期間：2023年1月2日～2023年10月23日、日次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。